

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	公園課長 田沼 滋哉	
都整-39	重点事業	公園維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 公園課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 みどり課
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	都市公園等の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	公園緑地等の適切な維持管理を図るため。
効果	適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託し管理した。 経年劣化した公園施設の修繕及び市民要望による公園施設の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の整備を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	309,275	319,843	当初予算(千円)	383,369			
	国県支出金			国県支出金	22,700			
	地方債			地方債				
	その他	25,031	15,456	その他	17,291			
	一般財源	284,244	304,387	一般財源	343,378			
	人員配置数	2.3	3.0	人員配置数	3.5			
事業経費運営	人件費(千円)	17,907	23,378	人件費(千円)	27,611			
	総事業費(千円)	327,182	343,221	総事業費(千円)	410,980			
	市民1人当りの経費(円)	1,850	1,945	市民1人当りの経費(円)	2,331			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 公園愛護会や鎌倉広町緑地で保全活動を実施している団体等

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	都市公園等について、指定管理者による維持管理を実施。長寿命化計画に基づき遊具等の修繕を進めた。老朽化の進んでいる公園施設について、早期に修繕を実施していくにあたり、予算的措置が必要となる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	指定管理者による維持管理については、従前どおり実施されている。 今後、長寿命化計画を策定した遊具施設については、計画的に修繕を行っていく。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	指定管理者制度により、都市公園の効率的な運営と利用者サービスの向上を図る。 都市公園の適正な維持管理方針を定め、公園施設の安全確保と機能保全を図りつつ、経費の縮減や平準化を図る。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	都市公園の効率的な運営と利用者サービスの向上を目指し、指定管理業務及び委託業務を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	長寿命化計画未策定の遊具や他の公園施設については、インフラマネジメント計画策定の中で、道路、橋りょうや下水道といった施設との優先順位などを勘案しながら検討を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向						備考
当該指標を設定した理由		H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--